

2020 年度
学校自己評価報告書

C

C

2021 年 9 月 14 日

社会福祉法人勇樹会
佐渡保育専門学校

1. 教育理念

本校は、学校教育法及び児童福祉法に基づき、保育・幼児教育に関する専門的な知識及び技術を習得させ、職業人としての必要な能力を育成するとともに、社会人としての豊かな教養や人間性を養うことを理念とする。

2. 運営方針

- 1) 資格・免許の資格取得及び児童福祉施設及び教育機関等のこどもに関わる仕事の就職を支援する。
- 2) 高い専門知識と技術を持って、こども達の健やかな成長と発達を促し、地域の児童福祉・幼児教育の発展・向上を図る。

3. 教育目標

1) 専門性の修得

発達に沿った理解と実践、子どもの変化・ダイナミズムをとらえた瞬時の柔軟な判断ができる保育士を目指す。

2) 人権意識の涵養

子どもの心と体を第一に考え実践できる保育士を目指す。

3) 自己研鑽の意識

現状に満足せず、保育の発展を常に考え、学びを続ける保育士を目指す。

4. 自己評価

1) 学校運営

適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1

評価項目	評価
1. 教育理念に沿った運営方針が策定されているか	3
2. 運営方針に沿った教育目標が策定されているか	3
3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4. 人事・給与に関する規程等は整備されているか	3
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
6. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3

① 課題

教育活動等に関する情報をホームページに公開しているが、優先順位が下位になり更新が遅れがちになってしまう。

② 今後の改善方策

優先順位を上位にし、月2回程度更新できるよう取り組む。

③ 特記事項

特になし

2) 教育理念・教育目標

適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1

評価項目	評価
1. 教育理念・教育目標は定められているか	4
2. 教育理念・教育目標について、学生・保護者に周知されているか	3
3. 教育理念・教育目標は対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

入学前後は入試もあり各自が意識しているが、在学中は意識をすることがほとんどない。保護者に向けても周知が不十分である。

② 今後の改善方策

昨年度も同様の指摘がされているので、昨年度の改善方策を踏まえて確実に実施することとしたい。

③ 特記事項

特になし

3) 教育活動

適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1

評価項目	評価
1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
2. 教育理念や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した学習時間の確保は明確にされているか	4
3. カリキュラムは体系的に編成されているか	3
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	3
5. 関連分野の企業・関係施設等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6. 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ・実技・実習等）が体系的に位置付けられているか	3
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9. 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
10. 教育活動は、教育目標の達成に向けた取り組みを行っているか	3
11. 関連分野における業界等との連携において、優れた教員（本務・兼務含む）を確保しているか	3
12. 関連分野における知識・技術等を修得するための研修等、資質向上のための取組が行われているか	2

① 課題

○学生が自ら考え、発信する授業が必要。コミュニケーション力を高めるためにグループワーク等が必要ではないか。

○研修・資質向上のための取り組みが弱い。

② 今後の改善方策

○専任の授業「保育デザイン」を有効活用し、コミュニケーション能力を高める授業を展開していきたい。

○研修・資質の向上を高めていくために、授業見学等を検討していきたい。

③ 特記事項

特になし

4) 学修成果

適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1

評価項目	評価
1. 就職率の向上が図られているか	3
2. 退学率の低減が図られているか	3
3. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
4. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	2

① 課題

離職率が高い。

② 今後の改善方策

離職率が高いのは、本人の問題かもしれないが相談相手がいないのではないかと。

- ・ どんどころでつまづいているのか、悩みを聞き出す
- ・ 在校生も同じようなところにつまづく可能性がある
- ・ 話を聞いてもらうだけでも、少しは解消されるのではないかと

③ 特記事項

特になし

5) 教育環境

適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1

評価項目	評価
1. 施設・設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備されているか	2
2. 学内外の実習施設・インターンシップ等についての教育体制を整備しているか	3
3. 防災に対する体制は整備されているか	3

① 課題

防災に対する体制が不十分である。

② 今後の改善方策

避難訓練以外にも防災に関する講義等を行い、防災に対する知識を深めていくこととしたい。

③ 特記事項

施設設備の整備には限界がある。

6) 学生の受入れ募集

適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1

評価項目	評価
1. 学生募集活動は、適正に行われているか	3
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
3. 学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

入学生の伸び悩み。

② 今後の改善方策

- ・ 高校へ出向き授業を行い、高校の進路指導の先生と架け橋ができるようにする。
- ・ 在校生にも募集活動を積極的に働きかける。
- ・ 専門学校をアピールするために、ボランティア等を通じて話題作りをする。
- ・ 高校の先生にお越しいただき、専門学校の授業を見学していただく。
- ・ コロナ禍でもインターネットを活用し、学校のアピールを行う。職員の人数も限られているので、担当制（高校、社会人、島外等）にし、一人ひとりの責任と自覚をもって対応する。

③ 特記事項

○佐渡高校相川分校で全学年対象の進路ガイダンスに参加。小中学校からの学校見学を積極的に受付ける。

○県内に学校のCMを検討していただきたい。

7) 学生支援

適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1

評価項目	評価
1. 就職に関する支援体制は整備されているか	4
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6. 学生の生活環境への支援は行われているか	3
7. 保護者と適切に連携しているか	3
8. 卒業生への支援体制はあるか	2
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10. 高校等との連携によるキャリア教育等の取組が行われているか	3

① 課題

- 保護者との連携に関して問題がある場合は保護者と連携をしているが、専門学校は高校とは違いどこまで保護者と関わるのが適切なのか判断に苦慮する。
- Jof禍のような通常とは違う状況下では授業での丁寧な説明また保護者の方々に学業への取り組み等の説明が必要。
- Jof禍のような通常とは違う状況の場合や卒業生への支援体制が未整備となっている。

② 今後の改善方策

- 教育は家庭との連携で行われるので、保護者の方への発信も積極的に取り組むこととしたい。
- 組織的な支援体制は構築されているが、個人に対する支援体制を確立するのは難しい。また、感染症等で通常時ではない場合や卒業生に対する支援体制を今後構築していきたい。
- 卒業生への定期的な連絡を積極的に行う。また、学校新聞等を年1~2回発行し、各講師の近況や勇樹会の取り組み等、ニュースを発信することを検討したい。

③ 特記事項

Jof禍で同窓会等が開催できなかったため、終息後には卒業生の交流の場を設けてもらいたい。

8) 法令等の遵守

適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1

評価項目	評価
1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4. 自己評価結果を公開しているか	3

① 課題

自己評価は実施しているが、問題点の改善が追い付いていない。

② 今後の改善方策

改善がされていない項目においては、改善できる項目から改善することとしたい。

③ 特記事項

ファイル等の保管場所を改めて整理し、個人情報を含むファイル等は全て鍵のついている書庫に整理を行う。

9) 社会・地域貢献

適切...4、ほぼ適切...3、やや不適切...2、不適切...1

評価項目	評価
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
2. 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3
3. 地域に対する公開講座等の受託を積極的に実施しているか	3

① 課題

- ボランティア活動へ積極的に参加する。
- 例年課題である地域への公開講座等の実施は難しい。

② 今後の改善方策

- ボランティア活動についてはコト禍で制限もあるが、学校としてもっと積極的に奨励していきたい。

③特記事項

- 地域の方々へ、施設（体育館等）の貸し出しを行っている。

C

C